

2020 TREND MICRO CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT



※本紙は以下のWebサイトに記載の英語版レポートを日本市場向けに参考翻訳したものになります。 https://www.trendmicro.com/en_us/about/corporate-social-responsibility.html

INDEX

レポートについて

代表取締役社長挨拶

トレンドマイクロについて

コーポレートガバナンス8ソリューション10新型コロナウイルス対策14

サステナブルな開発

倫理規定とビジネス慣行ガイドライン 15リスクマネジメント 16ステークホルダーと重要課題への対応 17トレンドマイクロとSDGsの関係 21

社員

透明性のある採用手続き22健全な労働環境23社内コミュニケーション24学習と成長25

お客様

企業のお客様向けサービス 30個人のお客様向けサービス 31コミュニケーションチャネル 31

コミュニティ

社会活動33教育37地域に根差した活動40サイバー犯罪の撲滅に向けて42

Appendix

レポートについて

トレンドマイクロは、効率的な企業経営を行い、ステークホルダーに向けて最大の価値を創造しながら、人類発展のために技術ソリューションを提供し、社会発展を推進する責任を果たしています。本レポートの発行を通して、トレンドマイクロがどのように企業の社会的責任を果たし、社会の発展を推進しているかをステークホルダーの皆さまに明確に示したいと考えています。

レポートのパラメーターと制限

本レポートは、2019年6月1日から2020年12月31日までの日本、北米、欧州、アジア・パシフィックおよび中南米地域を対象にしています。ここに記載されている財務情報は、すべて2020年1月1日から2020年12月31日までのものです。

レポート基準

本レポートは、経済状態、環境保護、社会的責任に関するトレンドマイクロのコーポレートガバナンスについて情報を共有するもので、Global Reporting Initiativeが策定したGRIスタンダードに準拠しています。

トレンドマイクロへのお問い合わせ

本レポートに関するご提案やコメントは、トレンドマイクロまでお送りください。 〒151-0053東京都渋谷区代々木2-1-1新宿マインズタワー

大代表TEL:03-5334-3600

www.trendmicro.com

レポート作成の原則

本レポートは、サステナビリティの課題に対応し長期的運営を改善するため、重要性、包括性、対応性、およびインパクトの原則を含むAA1000(AccountAbility)を遵守しています。これを読んでいただければ、トレンドマイクロが企業の社会的責任(CSR)の原則に従っている否か、明確に判断していただけます。本レポートは、主要なCSR問題に対処するため、GlobalReportingInitiative(GRI)の第4版に規定されている構造と基準に基づいています。また、経営状態、環境保護、社会的責任に関するトレンドマイクロのコーポレートガバナンスについても説明しています。

レポート発行

本レポートは2020年12月に発行しました。トレンドマイクロは、環境保護を目的として本レポートをウェブサイトのみにて公開しています。

代表取締役社長挨拶

トレンドマイクロは、自由で安全な情報交換を可能にするグローバルな環境づくりを常に目指しています。30年以上の実績があるトレンドマイクロでは現在、年間54億以上の新しい脅威を検知し、2億5,000万を超えるエンドポイントを保護しています。また、Fortune 500リストの上位10社のうち8社からの信頼を得ています。オンラインの世界が急速に変化する中、世界中のすべての人のために情報セキュリティのセーフティネットを維持しながら、新しい課題に対応し続ける責任があるとトレンドマイクロは考えています。

Standing Tall On the Cloud (クラウドの脅威に立ち向かう)

2020年、トレンドマイクロはアジャイル手法を導入し、3つの戦略原則を採用して企業経営を強化し「Trend Micro Standing Tall On the Cloud」ミッションを完成させました。変革を行うには「心」の変革から始めなければなりません。さらに、社員が「専門化」と「顧客第一」思考のソフトスキルを習得したいと思うような企業文化である必要があります。デジタルセキュリティ革命が進行する中、トレンドマイクロは、世界の情報産業を保護するために、製品の対象範囲を拡大しクラウドに移行して新たな課題を克服するという、これまでになく長くて困難な道のりを歩んできました。

1. データ主導型の意思決定 より客観的でスマートな選択をする

クラウドコンピューティングのインフラが成熟し、普及が進むにつれ、多くのビッグデータやオープンデータアプリケーションが急速に主流になり、情報セキュリティはこれまでにない課題に直面しています。広範囲に及ぶ新たな脅威のまん延に対応するうえで、ビッグデータのマイニングと分析により、意思決定者はより客観的な選択をすることができ、「迅速な対応」や「柔軟な適応」といった組織文化が成長していきます。

2. カスタマーサクセス - お客様を成功に導く

お客様の成功があって初めてトレンドマイクロの成功があります。トレンドマイクロの価値は、お客様の問題を解決する能力にあります。当社は、お客様との相互利益を重視し、お客様との良好な関係の維持に努めています。強力な情報セキュリティソリューションと効果的な教育やトレーニングを組み合わせることで、世界中の50万のお客様とともに成長しています。トレンドマイクロは今後もカスタマーサクセスを最優先に考え、安全なデジタル環境を維持していきます。

3. すべての社員が顧客価値の向上に対して責任を持つ - 意思決定の全権限を委譲し、責任を共有する情報セキュリティインシデントには迅速な対応が求められます。トレンドマイクロでは、チームの柔軟性と効率性を高めるために、スタッフが有意義な意思決定を行って革新的な新しいワーキングモデルを試すことができるように全面的に支援しています。お客様のニーズを最もよく把握している最前線のチームメンバーは、長期にわたる分析や意思決定プロセスを踏まずに意思決定を行う権限を持っているため、最適なソリューションを迅速に提供できます。

新型コロナウイルスのパンデミックとの戦い

世界的な新型コロナウイルス(COVID-19)のパンデミックは、何十億もの人々と非常に多くの組織に影響を及ぼしています。社員の健康を優先するために当然のこととして、トレンドマイクロは感染症対策計画を実施してきました。新型コロナウイルスの危険性が認識されたため、当社は社員の在宅勤務を許可し、多くの出張を中止しました。トレンドマイクロはコアコンピタンスを活かし、インターポールとの継続的なパートナーシップを通じて、グローバルな情報環境の包括的な保護に取り組みました。トレンドマイクロでは、パンデミック時に在宅勤務者や企業が自分の身を守り、サイバー攻撃のリスクを最小限に抑えるのに役立つ情報セキュリティ啓発イベントも開催しています。

より安全なデジタル世界を目指して

トレンドマイクロでは、長期的な成長と業務の強化を追求するとともに、全社員に対して顧客重視、ソフトウェア開発 効率の改善、セキュリティ意識およびデジタルリテラシーの向上に取り組んでいくことを期待しています。このような 取り組みを行うことで、社会に良い影響をもたらし、デジタル情報の世界をより安全で豊かなものにしていきたいと考 えています。トレンドマイクロは、世界中の50のグローバルビジネスユニットで働く6,500人以上の社員と共に、今後も グローバルな情報セキュリティリーダーとしての役割を果たしながら、社会の期待に応えていきます。



be Chen

トレンドマイクロについて

トレンドマイクロには、デジタルインフォメーションを安全 に交換できる世界の実現というビジョンがあります。

「Stand Tall on the Cloud」は、2020年にそのビジョンを 実現するための戦略となりました。トレンドマイクロでは、 すべての変革は企業文化の核となる「心」から始まると 考えています。この情熱を原動力に革新を続けています。 当社は情報セキュリティに注力する一方で、情報技術や

創業	1988年(米国)
本社	日本(東京)
従業員	6,975人
上場取引所	東京証券取引所(4704)
連結売上高	1,740億円

ユーザーの行動の変化がもたらす新たなセキュリティリスクに迅速に対応するための最新技術を推進しています。 また、米国、日本、ドイツ、台湾、フィリピンなど世界55か所のオフィスに6,500人以上の社員を抱える真の国際チームで、50万社に及ぶ企業の2,500万のエンドポイントを保護しています。

マネジメント

トレンドマイクロは30年以上にわたり、3CiTという明確なコアバリューに基づいてグローバルに事業を展開してきました。これらのコアバリューは、社内の会議室の壁に貼られたポスターに書かれただけの、あるいは経営陣がただ繰り返すだけのスローガンのようなものではありません。すべての戦略的アクション、運営ポリシー、そして経営判断を導く実践的なスローガンとなっています。

ブランドビジョンと哲学

現在、テクノロジーはかつてないほど知識の共有を容易にし、あらゆる人に対して学習し、成長し、成功する という限りないチャンスを与えています。トレンドマイクロは、デジタルインフォメーションを安全に交換できる 世界の実現というビジョンを追求し、家庭とビジネスをセキュリティの脅威から守り、安全なオンライン環境を 醸成することで、全人類への利益を追求します。



Vision

デジタルインフォメーションを安全に交換できる世界の実現

Mission

お客様のデジタルライフやITインフラを脅威から守る



Vision: デジタルインフォメーションを安全に交換できる世界の実現

デジタル情報を交換することは、知識の共有を可能にし、相互理解を深め、平等な学習機会を確保 します。トレンドマイクロは誰もがデジタル情報を自由かつ安全に交換できるよう、ネットワークを守る ことで世界を向上させていくという目標を持っています。

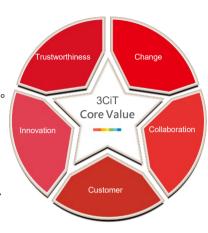
Mission: お客様のデジタルライフやITインフラを脅威から守る

次々に登場する新しいIT環境には、常に脅威やリスクが伴うものです。これらの脅威から、お客さまのデジタルライフや企業活動、そして社会を守る。それが、トレンドマイクロの使命です。スレットディフェンスエキスパートとして、最適なソリューションを提供します。

3CiT コアバリュー

トレンドマイクロの企業文化における中核"3CiT"は5つのコアバリューから構成されています。時代や市場の変化による様々なステージで確かな価値を打ち出す場合においても、当社は常に持続可能な企業価値の向上に従事し、責務を全ういたします。

- Change 変化をチャンスと捉え、変化のリーダーとなる。
- Collaboration コラボレーションから生まれる知性こそ全体像を見る唯一の手段であることを認識し、常にエコシステムの構築を推進する。
- Customer 情熱を持って行動する。顧客に真の利益を提供する。
- Innovation 失敗を恐れず、社会に新しい価値を創造する。
- Trustworthiness ノーエゴ、あるがままでいること。誠実で 首尾一貫していること。



DevOpsカルチャーの導入

近年のデジタル環境の急速な変化により、新たな形態の攻撃が引き起こされてきました。これを受けてトレンドマイクロでは、「適切な製品の構築」、「価値の迅速な提供」、「運用品質の向上」を主要な目標としてDevOpsを導入し、組織を再構築しました。トレンドマイクロは、企業文化のシフトとリソースの統合を行うことで、グローバルなデジタル世界を再構築します。

DevOpsの導入

スマートな意志決定をより客観的に、より賢く (データ主導型)

お客様に親身になって対応することでお客様を成功に導く (カスタマーサクセス)

意思決定の権限を分散し、恐れずに責任を共有する (成長型マインドセット)





事業運営

トレンドマイクロは現在、世界中で企業、家庭、また個人向けにソリューションを提供しています。当社の 販売収益 は近年着実に成長しており、2020年には1,740億円に達しました(前年同期比5.4%増)。

直近4年間のトレンドマイクロの業績

(単位:百万円)

	2017	2018	2019	2020
売上高	148,811	160,410	165,195	174,061
売上高増減率	12.8%	7.8%	3.0%	5.4%
営業利益	36,441	35,836	37,686	39,464
親会社株主に帰属する当期純利益	25,691	28,314	27,946	26,904
1株当たり当期純利益金額	187.01	204.38	200.94	193.39
総資産	331,157	346,243	359,710	376,701

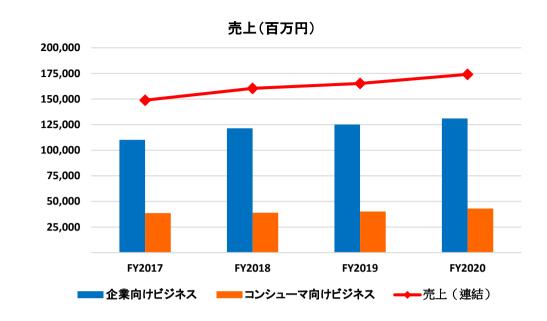
詳細を確認する

地域別の売上高

	2017	2018	2019	2020
日本	39.7%	39.3%	40.3%	41.3%
北米地域	28.2%	25.9%	22.6%	21.1%
欧州地域	16.2%	17.7%	17.6%	17.6%
アジア・パシフィック地域	12.9%	14.3%	16.4%	17.2%
中南米地域	3.0%	2.7%	3.1%	2.8%

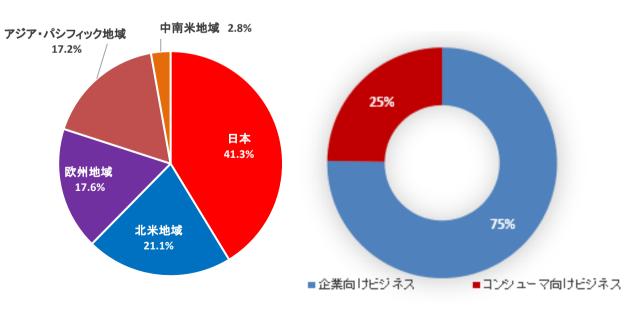
詳細を確認する

売上高全体の約75%は企業向けビジネス、25%はコンシューマ向けビジネスによるものです。



地域別 売上比率

ビジネスセグメント別 売上比率



コーポレートガバナンス

絶えず変化する情報セキュリティの世界では、一秒一秒が重要です。トレンドマイクロでは同心円型のマネジメントモデルを開発し、階層的な機能チームを意思決定の輪に転換しました。経営陣や役員がそれぞれの意思決定の輪の中心となっています。















ng 詳細を確認する

Industry Recognition

クラウドワークロードセキュリティ製品において「リーダー」に位置付け

トレンドマイクロは、The Forrester Wave™: Cloud Workload Security, Q4 2019 レポートにおいて、製品および戦略カテゴリで最高のスコアを獲得し、「リーダー」に選ばれました。

※出典: The Forrester Wave™: Cloud Workload Security, Q4 2019 by Andras Cser with Merritt Maxim, Matthew Flug, and Peggy Dostie

脆弱性公開の実績No.1※

主な脆弱性調査ベンダ11社が2019年に開示した脆弱性のうち、半数以上となる 52.33%をTrendMicro ZeroDayInitiative™ZDIが発見しました。

※出典: Omdia, Quantifying the Public Vulnerability Market July 2020 公開されている脆弱性市場は、すべての脆弱性を表すものではありません。

MITRE ATT&CK評価テストにおいて検知率1位

トレンドマイクロは、MITRE ATT&CK評価テスト** APT29の疑似攻撃によるテスト(設定変更なし)において、検知率91%で1位の結果となりました。

※出典: https://attackevals.mitre-engenuity.org/APT29/results/trendmicro/index.html 製品の初期設定時(設定変更なし)の評価テストで、ベンダー21社中検出率1位。トレンドマイクロが、MITRE社のMITRE ATT&CK評価テストの結果をもとに独自に検知率を算出。検知率が高い順に1位~9位までをグラフにマッピング。

企業向けエンドポイントセキュリティ製品国内市場シェア 12年連続No.1※1

トレンドマイクロ製品は、IDC Japanの調査で企業のエンドポイントセキュリティ製品で12 年連続※2最も高いシェアを占めています。

※1 2008年~2019年 連続No.1

※2 出典: IDC Japan, Japan Semiannual Security Software Tracker 2019 H2 エンドポイントセキュリティー

Enterprise Detection and Response製品の「リーダー」に位置付け

The Forrester Wave™: Enterprise Detection And Response, Q1 2020レポートで、Enterprise Detection and Response製品の「リーダー」に選ばれました。

出典:The Forrester Wave™: Enterprise Detection And Response, Q1 2020, March 18, 2020 By Josh Zelonis with Joseph Blankenship, Matthew Flug, Peggy Dostie

詳細を確認する



02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

ソリューション

トレンドマイクロは、予防、信頼性の高い検出、迅速な脅威への対応などの多層保護によって、世界中で2億5,000万を超えるエンドポイントと50万以上の企業を保護しています。トレンドマイクロは、お客様が脅威に備え、感染してしまった場合には迅速に回復できるよう支援しています。

製品・ソリューション















詳細を確認する

Hybrid Cloud Security

に、多くの組織がさまざまなセキュリティソリューションを使用しています。トレンドマイクロは、Trend Micro Cloud One™のセキュリティ機能をクラウドインフラストラクチャおよびビッグデータ分析と組み合わせて、データセンター、IaaS(Infrastructure-as-a-Service)、コンテナ、ストレージ、サーバーレス領域を保護するための統合セキュリティアプローチを提供しています。トレンドマイクロは、ハイブリッドクラウドセキュリティを通じて、物理環境、仮想環境、クラウド環境、コンテナ環境をカバーするセキュリティ管理の簡素化と改善を行い、お客様のニーズにお応えします。

現在、新たな脅威の絶え間ない攻撃からの保護を得るため



自動化 柔軟性

時間を節約し、可視性を高めます。導入と検索の自動化により運用の効率とスピードが向上し、よりシンプルにポリシーを遵守させることができます。

必要な調達ニーズや導入方法に応じて、広範で統合されたクラウド用API、複数のプラットフォーム、専用ツールから開発者が自由に選択することができます。

Network Defense

現在、ほとんどのベンダーは既知および未知の脅威から保護できると主張していますが、公開されていない脆弱性は企業ネットワークに今でも潜んでいます。トレンドマイクロは、侵入防御(IPS)と高度な脅威防御(サンドボックスシミュレーション分析など)を統合し、クロスジェネレーション技術と高度な脅威検出を組み込んで、企業が既知の脅威と未知の脅威から最適な保護が得られるようにしています。

詳細を確認する

また、3つの重大なゼロデイの脅威から包括的に保護します。

(Gen)

·マルウェアおよびURL:

悪意のあるプログラムやWebサイト埋め込み技術です。

·未知の脆弱性:

これらはまだ知られていないか、発見されていない脆弱性です。

·既知の脆弱性:

これらは特定の既知の脆弱性を標的とした攻撃です。

User Protection

脅威は常に進化し、より高度で危険なものになっています。トレンドマイクロは、ユーザ保護を芸術の域にまで高めており、ファイルレスマルウェア、標的型攻撃、ランサムウェア、ビットコインマイニングなど、絶えず変化する脅威の先を行く適応性の高い保護を行うことができます。デバイス、アプリケーション、ネットワーク、場所を問わず、最も包括的な保護をお客様に提供します。

INDEX 01 トレンドマイクロについて 02 サステナブルな開発 03 社員 04 お客様 05 コミュニティ

- ・最大限の保護:クロスジェネレーションの統合脅威防御技術により、最適な瞬間に最適な保護で進化する状況に対応し、ユーザがWebサイトやWebアプリケーションに安全にアクセスできるように、コンピューターやモバイルデバイスを保護します。
- ·最小限の影響:保護管理がシンプルで、単一の統合コンソールから脅威とすべてのデータ保護レイヤーに対応できます。
- ・保護スイートの連携: 従来のソリューションは、さまざまな情報セキュリティの課題に対応するためにそれぞれ対応する製品を使用するというものです。しかし、現在の脅威を総合的に解決することはできませんでした。トレンドマイクロのスマートエンドポイント保護パッケージは、エンドポイント、メール、Webサイト、SaaS(Software-as-a-Service)アプリケーションを多層的に保護できます。

中小企業向け製品

中小企業向けに設計され、XGen™セキュリティを搭載したウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス は、クロスジェネレーションの脅威防御技術を提供し、組織の環境全体で自動的にインテリジェンスを共有 して脅威を検知します。次のようなメリットがあります。

シンプル

- ·導入と利用が簡単
- ・組織全体にわたって詳細に可視化し制御できる、単一の直感的なWebコンソールを提供
- ・1つのエージェントで複数のデバイスを管理

完全

・機械学習と最新の検出技術を組み合わせて、ランサムウェアや高度な攻撃からの広範な防御を提供・高度な脅威防御技術を組み合わせて使用することで、ユーザのアクティビティ、エンドポイント、メールボックスのセキュリティギャップを解消

信頼

・最新のスレットインテリジェンスネットワークを活用して2億5,000万以上のエンドポイントを保護・お客様が業務に集中できるように脅威から防御

Detection and Response

Trend Micro Vision Oneは、非常に効率的なAIと専門家によるデータ分析により、企業環境から収集した生のセンサーデータを解釈し、最も本質的で精度の高い警告を行います。Trend Micro Smart Protection Network™のグローバルなスレットインテリジェンスと、脅威分析の専門家によって継続的に更新される検知ルールを組み合わせることで、メール、エンドポイント、サーバー、クラウドコンピューティング、ネットワークなどに対する脅威を効果的に検知・対応します。詳細を確認する

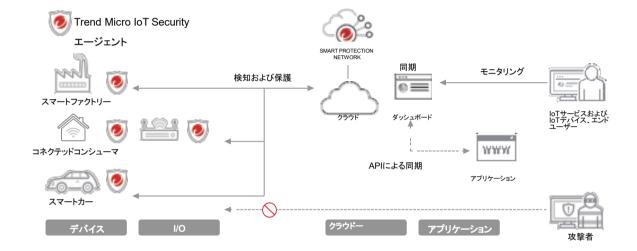
法人向けサポートサービス

トレンドマイクロは情報セキュリティに完全に特化しています。トレンドマイクロは、世界各地に情報セキュリティの専門家を配置しており、お客様に専任のカスタマーサービスマネージャーを設置して、企業向けにカスタマイズされた専門性の高いソリューションを作成することができます。複雑な情報セキュリティの問題に直面しているお客様のために、トレンドマイクロが情報セキュリティの課題を克服し、お客様が事前に効果的な計画を立てるお手伝いをします。詳細を確認する

INDEX 01 トレンドマイクロについて 02 サステナブルな開発 03 社員 04 お客様 05 コミュニティ

IoTセキュリティ

loT(Internet of Things)は、オンラインのデータ量を劇的に増加させています。今や攻撃者は、家電製品、自動車システム、製造工場、医療機器などを狙っています。お客様には、ネットワークやデバイスなどのセキュリティについてより深く理解していただく必要があります。そのため、トレンドマイクロは能力とテクノロジーを向上させ、コネクテッドカー、コネクテッドコンシューマ、スマートファクトリーの保護に焦点を当てています。



loTデバイス向けのセキュリティソリューションであるTrend Micro loT Security[™]は、デバイスにエージェントを組み込むことで、デバイスのセキュリティリスクを迅速に検知し、セキュリティリスクを最小限に抑えます。OT (Operational Technology)向けセキュリティソリューションの1つであるEdgeシリーズ (EdgeFire[™]、EdgeIPS[™]など)は、ミッションクリティカルな生産設備内のネットワークを保護することで、スマートファクトリーの継続的な稼働の実現を支援します。また、第5世代移動通信システム(5G)の普及により、コネクテッドカーなどのミッションクリティカルなデバイスが通信ネットワークに接続されます。それを保護するセキュリティソリューションとして、Trend Micro Mobile Network Security[™]の提供をはじめています。

詳細を確認する

02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

個人向け製品

AI技術による多層防御を含む革新的でインテリジェントな防御機能により、ランサムウェアやネット詐欺などの未知の脅威からリアルタイムに保護します。



機械学習型スキャン

AI技術を用いた多層防御で、悪意のある 攻撃を正確に検知し、未知の脅威 からリアルタイムで保護します。



ネット詐欺対策

オンラインショッピング をより安全に

多層防御保護によりパソコンやモバ イルのネット利用をより安全なものに 1.ます。



1 パフォーマンスを最適化

クラウドベースのスマートスキャンにより、Web閲覧やゲーム中のパフォーマンス低下を最小限に抑えます。。



ネット詐欺をリアルタイムでブロックし、

攻撃者から保護します。

AI技術を活用した多層防御システムにより、未知の脅威をより迅速に検知できる総合セキュリティソフトです。



·Web脅威対策: AI技術により、未知の不正なWebサイトや悪意のあるWebサイトを回避できます。

・機械学習型スキャン: AI技術と既存の技術との組み合わせや、ファイルの特徴からふるまいを予測する技術により、判定制度を高めています。

・ランサムウェアからの保護:ランサムウェアの動きを検知してブロックし、ファイルが暗号化/変更される前にファイルを自動でバックアップし、暗号化されてしまったファイルを復元します。





ウイルスパスター for Mac

Mac専用のセキュリティソフトで、悪意のあるWebサイト、ランサムウェア、プライバシーの脅威から保護します。また、インターネットにおける子どもたちの安全を守ります。



ウイルスバスター クラウド + デジタルライフサポート プレミアム

24時間365日デジタル機器の設定・操作の相談ができる、ワンランク上のサポートが付いた、総合セキュリティソフトです。80種類以上のデジタル機器やアプリケーション、オンラインサービスの設定・操作に関する質問ができます。

詳細を確認する



ウイルスバスター モバイル

WebサイトやSMSなど多様な手口で近づくネット詐欺、Wi-Fi利用時の通信の盗み見リスクなどから、あなたの大切な情報やプライバシーを守るセキュリティアプリです。

詳細を確認する



パスワードマネージャー

あなたに代わってID/パスワードを安全に記憶し、個人情報の流出を 監視する、セキュリティアプリです。

詳細を確認する



ウイルスバスター for Home Network

ホームネットワーク上の通信を監視し、複数のスマート家電やタブレットなどの情報端末をまとめて保護するセキュリティ製品です。ご家庭内のネットワーク構成やデバイスの設定を変更することなく、ルータに接続することで利用できます。 詳細を確認する

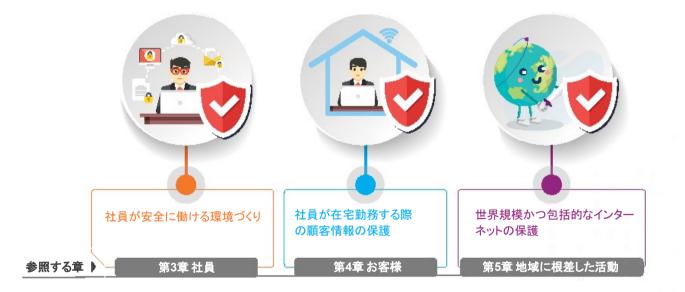
13

新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス(COVID-19)が世界的に流行し始めたとき、トレンドマイクロは中核となる意思決定チームを立ち上げてリスクを検討し、パンデミックへの総合的な対応を導入しました。

このチームは以下の3つの主要な問題に重点的に取り組みました。

- 1) 社員が安全に働ける環境づくり
- 2) 社員が在宅勤務する際の顧客情報の保護
- 3) 世界規模かつ包括的なインターネットの保護





02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

サステナブルな開発



情報セキュリティは、持続可能な社会の発展に おいて主要な関心事となりました。

トレンドマイクロは情報セキュリティの第一線と しての役割を担うことこそが責務であり、 その責務はお客様へのサービスの枠を超え、 社会貢献にまでおよぶと考えています。

当社は、当社が実績を誇る知見を結集し、より良い形でお客様を守ることで、サイバーセキュリティを芸術の域に昇華しようと試みています。また、トレンドマイクロは社員のために優れた職場環境を作り、お客様のニーズに応えようと努力することで、社会を改善することを目指しています。当社は社員、お客様、そして世界全体がお互いに有益である状態を達成しようと取り組んでいます。

倫理規定とビジネス慣行ガイドライン

トレンドマイクロは、世界中に中枢部門を配置し、国際的に事業を展開しています。国やビジネス環境には、それぞれ異なる規制、慣習、倫理ガイドラインがあります。当社の社員は明確な倫理規定に従い、利益相反を公に開示しなければなりません。この規定により、当社の役員、管理職、および社員はすべて、勤務地や商習慣に関係なく、許容される振る舞いの基準を理解することができています。

トレンドマイクロでは、社員は以下の規則を遵守するものとします。

- ・**基本原則**:トレンドマイクロの社員はすべて、誠実で率直に行動するとともに、必要に応じて情報の機密性を保持し、そのポリシーおよび政府の規制や法令に従わなければならない。
- ・**利益相反およびインサイダー取引**:トレンドマイクロでは、事業活動における利益相反およびインサイダー取引に関する明確な規制を設けている。
- ・会社情報開示:トレンドマイクロの社員はすべて、自身がアクセスできる情報のクリアランスレベル を理解し、開示できるまたは他者から受け取ることのできる情報の種類を知っている必要がある。社員 は、誤った情報を提供したり、他人を誤解させたりしてはならない。
- ・機密保持:役員を含むすべての社員は、機密保持契約を遵守しなければならない。
- ・キックバック: 違法、犯罪、または非倫理的な行動や活動は、誰がそのような要求をしたかに関わらず、許可されない。取引関係を進展させることを目的として、金銭を含む贈答品を授受することを固く禁じる。
- ・フェアトレード:トレンドマイクロは、市場での優位性を得るための不公正な取引慣行、非倫理的な行為、または違法な慣行を禁止する。
- ・会社資産の保護と合理的利用: すべての資産は、合法的かつ合理的なビジネスの目的にのみ利用できる。
- · 法律の遵守:どの部門でも、適用法を遵守するのに十分な情報が周知されている。
- ・**違反を報告する責任**: 行動規範に違反した社員は、内容に応じて制裁を受けることとする。ある者が法を犯した場合、トレンドマイクロは、さらなる対応を求めて関係当局へ連絡する。

詳細を確認する

リスクマネジメント

トレンドマイクロはお客様とステークホルダーを守るため、綿密な査定を通じて通常の業務オペレーションにおいて発生することが考えられるリスクを調査・把握しています。

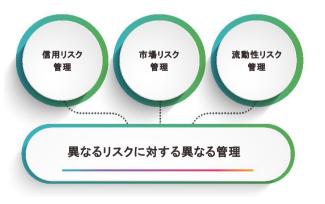
リスクカテゴリー	潜在的リスクとそれに伴う影響
組織的戦略	合併・買収時のコスト上昇と収益性の低下、単体ビジネスへの過度の依存、不適切な 事業成長管理、戦略的提携からの予想外に低いリターン
市場競争	インターネットセキュリティ市場に参入する他企業との競合、販売及び市場占有率に 影響を与える製品の陳腐化
サプライチェーン マネジメント	ハードウェア製品の製造および在庫リスク、製品リコール、販売店によるトレンドマイクロ製品売り込みの失敗、トレンドマイクロの業績に影響するほど厳しい財政状態にある販売店
製品イノベーション	進化・拡大する脅威に対処するのに十分な速さでイノベーションを起こしたり、顧客の セキュリティ要求を満たすのに十分な頻度でソリューションを更新したりできない
人材 マネジメント	人事の損失や変更。中でも管理職とスタッフの離職
財務	四半期毎の決算内容の変動による株価の不安定な動き、為替差損や金融市場のボラティリティによる損失など
法務	知的財産権の侵害、予期しない規制上の問題
情報セキュリティ	ハッカーの攻撃による運用の中断、風評被害、内部情報セキュリティリスク
その他	発注のキャンセルまたは遅延、エネルギー不足、地震、戦争、自然災害

トレンドマイクロは、組織の運営に影響を及ぼす可能性のある要因を軽減するべく、リスクと 損失を 管理するシステムを構築しています。

- ・ 製品やサービス、インフラや業務に関連するリスクを特定し、そのリスクを軽減するための仕組みを構築しています。また、これらのリスクを管理する責任者を設置しています。
- ・ 取締役を委員長とする「コンプライアンス・セキュリティ委員会」を設置し、法令遵守とリスク管理体制を統括しています。
- ・ 情報の漏洩、盗難、紛失、破損、不正改ざんなどは、組織の信用を著しく毀損する可能性があるため、情報管理体制、リスク管理方針、個人情報保護方針を策定しています。
- ・ 取締役会を中心としたSWATチームを設置し、重大なリスクに対処し、会社と顧客への影響を 軽減 しています。

トレンドマイクロでは、信用リスク、市場リスク、流動性リスクを厳格に評価・管理しています。

- ・ **信用リスク管理**:トレンドマイクロは、クライアントの財務状況を定期的に監視して、潜在的な損失から保護します。
- ・ 市場リスク管理(為替レートと金利の変動):トレンドマイクロは、証券取引や為替レートが会社に与える影響にともなって発生するリスクを軽減するために、ガイドラインを用意しています。
- **流動性リスク管理**:トレンドマイクロは、支払い向けのキャッシュフローを確保するための現金管理計画を用意しています。



ステークホルダーと重要課題への対応

安定したサステナブルな業界におけるIT会社として、トレンドマイクロは隔年で重要課題に取り組み、ステークホルダーを識別しています。今ご覧になっているレポートの結果は、2018年に行われた分析の中の問題管理方針に応じて出されたものです。



ステークホルダーのカテゴリー

トレンドマイクロは、刻々と変化するオンライン情報環境を保護するために、さまざまな情報セキュリティサービスを提供しています。トレンドマイクロでは、ステークホルダーの声をできるだけ正確に把握するために経営陣が慎重に分析を行っています。集中的に検討を行った結果、社員、クライアント、投資家、ビジネスパートナー、政府、コミュニティ、メディア、NGOおよび非営利団体(NPO)の8つのステークホルダーのカテゴリーを定義しました。



ステークホルダー	コミュニケーションチャネル	頻度	目的または重要性	
	年次ミーティング	毎年		
	ハイコミュニケーションミーティング	四半期		
	エンジニアリングキャンプ / エンジニアリングデー	毎年		
社員	ソリューションコンペティション	四十	トレンドマイクロは社員を最も重要な	
	お知らせ		・ 資産と位置付けています。	
	トレーニングセッション	適宜		
	メール	1 過且		
	ブログ			
	訪問		トレンドマイクロは、お客様のニーズに合った新製品開発を手掛ける際、お客様のお話を伺い、コミュニケーションを通じて共有価値を生み出すことで共に開発に取り組む	
h= /7\	電話	`* -		
クライアント 	メール	適宜		
	ミーティングもしくはセミナー		ことを目指しています。	
投資家	投資家面談	通年	トレンドマイクロはステークホルダー並びに投資家の皆様との積極的な対話を重要だと考えており、年間を通じてIR取材によるダイレクトコミュニケーションに尽力しています。	

02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

ステークホルダー	コミュニケーションチャネル	頻度	目的または重要性
政府	フォーラムまたはディスカッション	適宜	規制変更に対応するには、継続的な計画 が必要です。トレンドマイクロには、それら の要件を満たしながら当社のビジョンを実 現するための全体的な計画があります。
コミュニティ	日本フェンシング協会へのスポン サーシップ、その他の地域や団体 への社会貢献活動	適宜	トレンドマイクロは、情報セキュリティのグローバルリーダーとして社会的責任を果たすー方、より安全にデジタル情報をやり取りできる世界の実現を目指しています。
	プレスリリース	適宜	トレンドマイクロは、グローバルな情報セ キュリティの保護企業として、マスメディ アを重要なコミュニケーションツールと考
メディア	メディア 記者向け発表会やセミナー、取材 適宜	適宜	えています。メディアとの良好な関係を維持することが、トレンドマイクロが一般の 人々と広く情報を共有することにつなが ります。
NGO もしくは NPO	企業のスポンサーシップ、サポート、 その他の活動に関するディスカッショ ン	適宜	トレンドマイクロは、「テクノロジーと人文 科学を融合して新たな美しい世界を創造 する」というビジョンのもと、NGOやNPO と協力して、社会発展や社会貢献の機 会の創出を支援しています。

ステークホルダー	コミュニケーションチャネル	頻度	目的または重要性
チャネル/ パートナー	プロジェクトの更新(対面会議)	適宜	
	プロジェクトの更新 (電子メールと通知)	適宜	
	新製品およびサービス (対面会議)	適宜	トレンドマイクロは、デジタル情報をや り取りできる安全な世界をつくりだすた
	新製品およびサービス (電子メールとウェブでお知らせ)	適宜	め、新たなビジネスチャンスを発見し、 より優れた製品やサービスを共同で開 発するパートナーを積極的に求めてい ます。
	フィードバック(対面会議)	適宜	
	フィードバック (アンケートと電子メール)	適宜	
	トレーニング(対面セッション)	適宜	
	トレーニング (オンラインでのセッション)	適宜	

02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

重要課題の特定

外部コンサルタントが、GRIの方法論に沿って、セキュリティ動向、当社の年間目標、ステークホルダーからのフィードバックといった情報を用いてこのレポートの重要課題をまとめました。このレポートで対象となっている課題は、2018年のレポートで報告された結果に基づいています。トレンドマイクロのエグゼクティブチームが、まとめられた重要課題に優先順位をつけ最終決定した重要課題のマトリックスは以下のとおりです。

重要課題のマトリックス



重要課題の相関

		バリューチェーン					
重要課題	検討事項	ソフトウェア設計	実装	テスト	販売	カスタマーサービス	対応する章
業界人材育成	事業課題	•	•			•	05 グローバルシチズンシップ プログラム 03 従業員
製品サービスおよび お客様との関係	事業課題			•	•	•	04 お客様
健康と生活のバランス	事業課題	•				•	03 社員
キャリアトレトレーニングと成長	研修·教育	•	•				03 社員
知的財産保護	事業課題	•	•				04 お客様
インターネット情報の安全性	間接的な経済的影響	•	•	•		•	04 お客様
企業収益	景気動向				•		01 トレンドマイクロについて
製品研究、開発、およびイノベーション	事業課題	•					01 トレンドマイクロについて

重要課題の意義

重要課題	意義
インターネット情報の安全性	トレンドマイクロは、サイバーセキュリティプロバイダーとして、デジタル情報を安全にやり取りで きる世界の実現を目指してきました。当社は、多分野にわたるグローバルシチズンシッププロ
業界人材育成	ジェクトを通じて、コミュニケーションの多様化とソフトウェア開発のための人材育成に重要な役割を果たしてきました。サイバー犯罪と闘うため、政府機関と積極的に協力しています。
財務運営	トレンドマイクロは、変化し続けるデジタルセキュリティに対応するため、最も柔軟なネットワー
製品技術の研究開発と イノベーション	アレンドマイプロは、変化し続けるアンタルセキュリティに対応するため、最も未収なポットアークセキュリティソリューションの開発と提供に取り組んでいます。研究とイノベーションを通じて既存製品を継続的に強化し、お客様に包括的なセキュリティ管理ソリューションを提供し続けます。このソリューションは、不正なプログラムの侵入を防ぎ、ウイルスやスパムをブロックし、フィッシング詐欺を途中で無効化し、データ漏えいを防御し、さらにはお客様のランサムウェアの脅
知的財産保護	威からの回復を支援します。当社はまた、引き続きコラボレーションに取り組むパートナーを探し、より安全な世界を実現するために、その専門領域を新しい市場にまで拡大しています。

重要課題	意 第一章
カスタマーサービスと お客様との関係	トレンドマイクロは常に、「お客様と共に価値を創造する」という経営理念に基づいてきました。 お客様にとって製品がどのような意味を持つかは、製品の実際の機能と同様に重要です。 当社は、包括的なソリューションを提供することで、お客様がGDPRなどの新しい規制に対応し ながら情報を保護するのをサポートします。また、サービス品質を維持するため、お客様とのや り取りの後は、定期的に顧客満足度調査を実施しています。
社員の健康と生活のバランス	トレンドマイクロの企業文化には5つのコアバリューがあり、これを3CiTと略しています。最近は クラウドコンピューティングとIoTデバイスの急速な台頭を受け、中でも「変化を受け入れる」と
多様なキャリアトレーニング およびキャリア開発	「イノベーションを促進する」に重点を置いています。トレンドマイクロは、社員全体を継続的に 教育することで、一人一人が最大限の可能性を発揮し、共に成長することを期待しています。 そして、当社の目標を達成し、デジタルインフォメーションを安全に交換できる世界の実現の実 現を目指しています。

02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

トレンドマイクロとSDGsの関係

2015年9月25日、国連から「我々の世界を変革する: サステナブルな開発のための2030アジェンダ」が発表されました。これには17のサステナブルな開発目標と169の具体的なターゲットが含まれ、その後15年間、すべての国、企業、世界市民に対してサステナブルな開発目標(SDGs)を設定しています。この資料を確認して、トレンドマイクロでは重点的に取り組む4つの目標を定め、活動をします。



目標	トレンドマイクロの対応	対応する章
4 質の高い教育を みんなに	トレンドマイクロは、その中核となる「クラウドテクノロジー」能力を効果的に活用するために、さまざまなチャネルを通じて情報セキュリティの知識を社会に普及させることを約束します。	・ 03 社員 ・ 05 グローバルシチズンシップ プログラム
8 働きがいも 経済成長も	トレンドマイクロは、サステナビリティと包括的な経済成長を、win-winの成果につながる重要な経営目標として優先します。	・ 01 トレンドマイクロについて
12 つくる責任 つかう責任	トレンドマイクロは、情報セキュリティを中核能力として、お客様に最先端の保護を提供します。	· 01 トレンドマイクロについて · 04 お客様
17 パートナーシップで 目標を達成しよう	トレンドマイクロは、グローバルに情報セキュリティを守る存在として、世界中の法執行機関やその他のパートナーとの協力を通して、情報セキュリティを強化し、促進し、維持します。当社はまた、この重要な知識を世界中の人と共有するために、グローバルシチズンシッププログラムを通じてセキュリティ教育を促進します。	· 04 お客様 · 05 グローバルシチズンシップ プログラム

21

社員



トレンドマイクロの多様性と多文化からなる人材は、当社が世界で成功を収めている重要な要素です。トレンドマイクロでは、グローバル文化を推進することで、社員が自分に正直であり続けながら、自分自身の可能性を追求し、お客様に最高のサービスを提供することを奨励しています。当社は「Enjoy Work, Enjoy Life(仕事を楽しみ、人生を楽しむ)」という理念のもと、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。また、「多様性の受け入れ+コラボレーション=成功」という基本理念に基づいて、社員に包括的な福利厚生プログラムを提供しています。さらに社員が仕事で最大限の可能性を発揮し、当社と共に成長できるよう、幅広いトレーニングを提供しています。

詳細を確認する



透明性のある採用手続き



強力な企業文化は人材管理の基盤としての役割を果たします。

トレンドマイクロは、世界中で優秀な人材を募集し、多様性を追求しています。 人種、民族、国籍、性別、性同一性、性的指向、身体能力、年齢、宗教、退役 軍人か否か、社会経済的背景、政治的指向に関係なく、社員はすべて透明 性のある採用手続きを経ることになっています。

Item	Level	Male	Female	Other Subtotals & Ratios	
		People	People	People	People
	Senior Management Level	1,151	263	2	1,416
	Manager	1,472	393	2	1,867
Position	Senior Specialist/ Senior Engineer	908	609	6	1,523
	Specialist/ Engineer	1,407	645	7	2,059
	Total	4,938	1,910	17	6,865
	PhD	28	6	-	34
	Master	1,182	434	1	1,617
Education	Bachelor	1,975	853	0	2,828
	Other	1,753	617	16	2,386
	Total	4,938	1,910	17	6,865

新入社員(新卒および中途社員を含む)

地域	年間 新入社員数	新入社員の比率	年間 退職者数	年間 退職率
全世界	1,115	17%	787	12%

世界的分布

トレンドマイクロには、世界に6,800人以上の社員がいます。オフィスは、 アジア・パシフィック 地域、日本、フィリピン、欧州、中東、アフリカ、北米、中南米にあり、男性 社員4,938名(72%) 女性社員1,910名(28%)の社員が働いています。

02 サステナブルな開発

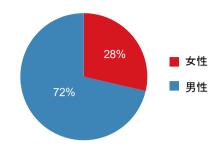
03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

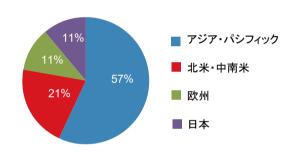
社員の男女比率

性別	社員数	比率
女性	1.910	28%
男性	4.938	72%
合計	6.865	100%

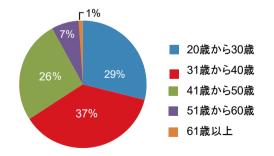


世界的分布

地域	社員数	比率
アジア・パシフィック	3.937	57%
北米·中南米	1.413	21%
欧州	745	11%
日本	770	11%
合計	6.865	100%



年齢	社員数	比率
20-30	2.020	29%
31-40	2.517	37%
41-50	1.755	26%
51-60	506	7%
60以上	67	1%
合計	6.865	100%



社員の人権尊重と人権保護

トレンドマイクロは社員の労働権を大切にし、プライバシーの保護に努めています。男女平等を実現するため、セクシャルハラスメント防止を目的とする社員行動規範に方策を盛り込みました。不正行為には罰則を与えます。当社はまた、男女平等の重要性を強調し、セクシャルハラスメントを防ぐために、定期的にセミナーも開催しています。2018年、トレンドマイクロは、差別なし、児童労働なし、抑圧なしという職場環境に対する「3つのNO」を発表しました。さらに、社員の権利を保護するために人権ホットラインとメールボックスを開設しました。社員に良い職場環境を提供することは、当社にとって重要な責任であると考えています。

健全な労働環境

給与と退職の構造

トレンドマイクロでは、社員の性別、宗教、人種、支持政党などは給与に影響しません。

当社は包括的な報酬システムを採用し、チームへの貢献度という観点で、定期的に公平に個人の業績評価を行っています。また昇進、昇格、ボーナスを通じて社員を奨励し、社員一人一人が持つポテンシャルを最大限に発揮し、自律的に働くための、組織・人事制度を策定しています。

当社は、その過程で楽しみながら懸命に、そして賢く働くことを信じています。社員には多くの福利厚生を準備しています。

- 地域社会へのリソース還元の機会とそのための特別休暇(ボランティア休暇)
- 最優秀(MVP)賞プログラム
- 業界最高の会社であること
- 優れた企業年金制度
- -健康とウェルネスに関する手当
- 社員紹介プログラム
- 家族インターンシッププログラム
- 社員の子どもを対象とした夏季インターンシッププログラム

詳細を確認する

LOHAS(ロハス)なライフスタイル

トレンドマイクロで働く誰もが、つながる世界全体を守るために協力し合う多様なグローバルファミリーの一員となります。トレンドマイクロでは、多様性、平等、そして協調についてのオープンな議論を促進します。当社は、情熱をもって成功を追い求める社員を評価することを信条としており、社員には「最高の自分」を見せてほしいと考えています。

柔軟で快適な職場環境

トレンドマイクロでは社員一人一人が自分らしさを発揮し、情熱的行動することで自身の持つ可能性を最大限に発揮することができる職場環境の提供・組織開発を行うために「Be the Best Part of Yourself =自分らしくある」ことが求められています。当社はドレスコードや時間に縛られず、労働時間の中で自由に働ける職場環境を展開しており、オフィスではカジュアルなスタイルで働く社員を見かけます。仕事が楽しければ社員は課題に向き合い、変革をチャンスと捉えることができると考えています。



男女共同参画



トレンドマイクロでは、多様な人材を採用することでテクノロジー業界全体、特にサイバーセキュリティ分野におけるスキル格差の軽減に貢献できると考えています。当社では、女性中心のインターンプログラム、スポンサーシップ、プロフェッショナルトレーニング、社内及び社外ネットワークイベントホストの機会を提供することで、組織における女性の活躍を支援しています。公平で働きやすい職場環境を守るため当社は男女平等を実践しています。

社内コミュニケーション

トレンドマイクロは、社員の権利を信じ、社員一人一人のフィードバックを大切にしています。360度フィードバックシステム、社員会議、部門間共有セッション、エグゼクティブチームによるブログなど、優れたコミュニケーションプロセスを設定しています。

社内フィードバック

トレンドマイクロができるだけ迅速に問題を解決するうえで、上司以外の社員同士のフィードバックが役に立ちます。 トレンドマイクロの経営陣は、多くのプラットフォームを活用してディスカッションを主催し、総合的なフィードバックを集めています。



ハイコム会議

経営陣と従業員による双方向のコミュニケーションにより、効果的にチームの結束を固め、社内の連携を促進 しています。トレンドマイクロは、世界中の社員とさまざまなトピックに関するハイコム会議を定期的に開催し、各自がどう考え、感じているのかを理解するようにしています。2019年にはハイコム会議が四半期ごとに開催されましたが、2020年は新型コロナウイルスの影響のため、オンラインでハイコム会議が4回開催されました。



▲トレンドマイクロのハイコム会議には全チームが参加し、対面でのコミュニケーションが行われます。

02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

エグゼクティブブログ

トレンドマイクロのエグゼクティブチームは、双方 向のコミュニケーションツールとして個人ブログを 書き、発表や事業戦略の共有を行っています。そ こで社員は質問したり、提案したりすることができ ます。



学習と成長

トレンドマイクロは『学習する組織』を目指し、社員ひとりひとりの成長が会社の成長につながると考えており、情熱を持った社員が失敗を恐れずに、主体的に新しい挑戦することを奨励しています。

そこで社員が自ら学び、成長し、その可能性を最大限に引き出すことができるよう、オリジナルのワークショップを提供しています。社員は自己開示と他者からのフィードバックにより、自分自身をより理解し、可能性を広げていくと考えています。「Be the Best Part of Yourself」を実践することで、自分自身の可能性を広げ他者とのコラボレーションを深め、自身の持つ可能性を最大限に発揮できるような関係・組織を目指しています。

2020年トレンドマイクロは、新しい解釈での企業文化、3CiT、DevOpsを組み合わせて組織を変革するために、ソフトスキルの開発の重要性を強調しました。3CiTとは、Customer(お客様を成功へと導く)、

Collaboration(他者を成功へと導き、その成功を活用するための連携)、Change(迅速な検証と学習による変化)、Innovation(新しい価値を創造するイノベーション)、Trustworthiness(適切に問題を解決する信頼性)のことを指しています。新しいDevOpsアカデミーでは、DevOpsの考え方を実践する方法を社員が学ぶのを支援するために、コンテストを通してゲームベースで学習できるようにしました

人材開発哲学

トレンドマイクロでは社内トレーニングプログラムに氷山モデルを適用しています。氷山モデルでは個人の特性を「水面上=目に見える特性」と「水面下=目に見えない特性」に分類しています。

目に見える特性にはスキルや知識などの ハードスキル、見えない特性には価値観や 動機などのソフトスキルがあり、その両方 の向上が重要と考え、トレーニングを行っ ています。



トレンドマイクロでは、売上成長と個人能力開発のためのトレーニングコースを提供しています。総合的 教育とトレーニングマップにより、社員は個人的な目標を持って、スキルを向上させることができます。ト レーニングには、技術的なワークショップや講義が含まれます。

トレンドマイクロの教育トレーニング構造

社員はすべてトレンドマイクロラーニングサークル(TLC)に参加しています。TLCは社員に、創造性を高め知識を得る機会を提供します。2019年以降、TLCはモバイルデバイスから利用できる5つのモジュールを備えたオンラインプラットフォームになりました。

TLC

この必須コースは、社員が仕事と私的生活のバランスを取り、学習能力を養うのに役立ちます。

専門スキルトレーニング

トレンド大学は、社員が仕事 上のスキルを向上させるの を支援するため、専門的な 技術トレーニングコースを提 供しています。

自己	受け入れ	思考のリフレッシュ	解放	知恵の獲得
-Johari Window -Blindspot -Double Loops	-Like vs. Dislike -F.A.C.EInfluence Wheel -Abilene Paradox -Left Hand Column	-Ladder of Inference -Challenge Assumption -Level of Perspectives	-Hedgehog -Grit -Jazz Band	-Check-in -World Café -Time Machine

専門スキルトレーニング

Trend Universityでは、社員が専門的に成長するのを支援するため、さまざまなオンラインチャネルを通じて技術トレーニングコースやセミナーを幅広く提供しています。



トレンドマイクロは、長期的な事業成長を目指すとともに、全社員が社会に良い影響を与えてより良い情報セキュリティ社会の実現に貢献してほしいと考えています。2019年は「Embracing DevOps(DevOpsの導入)」をテーマに、業務プロセスを簡素化し、より効率的なソフトウェアシステムを推進するための組織改革を推進しました。人を第一に考えることにより、開発チームのビジョンを明確にし、部署を超えて助け合いお客様を成功に導くための社員のソフトスキルを育成してきました。





▲ Stand Tall on the Cloud:文化の変革は「心」から始まる。このイベントには経営陣が参加し、社員との対面コミュニケーションが行われました。



結果

ワークショップ:3 参加者:1,500人

DevOpsの導入:文化の変革は「心」から始まる

Trend Micro Culture Day(DevCulturOps)が「Embracing DevOps(DevOpsの導入)」をテーマとして開催されました。ワークショップでは、製品やお客様の成功事例についてのオープンディスカッションや共有セッションを行い、完全な組織変革に向けたモチベーションを高めることができました。トレンドマイクロの企業文化の新しい考え方を紹介したほか、イベントの間ずっとテクノロジーに対するDevOpsの3つの重要な側面と共鳴するような、古筝、中阮といった弦楽器や中国の笛の演奏を楽しむ機会がありました。

DevOpsの導入:技術基盤を深めるための、異なる専門分野間の交流

Trend Learning Schoolは、トレンドマイクロにとって初めてのDevOpsワークショップであるCustomer Success Lecture Series を主催しました。Microsoft, Amazon, Googleの担当者にDevOpsジャーニーについて話していただきました。 Microsoftは「From monolith to cloud service(モノリスからクラウドサービスへ)」を発表し、DevOpsを統合する方法を説明しました。また、トレンドマイクロでは、革新的なアイデアを喚起してDevOpsへの理解を深めることができる勉強会に 社員が参加することを奨励しています。

DevOpsの導入: Star Trek Program

2020年にTrend Learning Schoolは「DevOps in Action」を取り入れました。ゲームをベースとした競争のある学習を通じて、社員が自社の製品やプロジェクトにDevOpsプラクティスを十分に取り入れることができるようにしたものです。参加者はお客様の成功という目標の達成を目指しました。この目標は、開発をより柔軟にし、ソフトウェアをより早くリリースすることを意味します。製品管理、営業、研究開発、情報技術、品質保証チームからメンバーが参加しました。学習する場として、すべての参加チームにそれぞれのメンバーの経験を共有し、組織の枠を壊すように呼びかけがなされました。優勝チームには後日、最高10,000米ドルの賞金と世界的な会議への招待が送られます。



結果

- ・ワークショップの合計数:9 ・オンラインおよびオフライン の参加者合計:2700人
- · レクチャー数:15
- · 参加地域数:5







結果

- チーム数:90以上
- 競技者:800人以上
- ・影響を受けたプロジェクト: 20 以上
- · 参加地域数:5

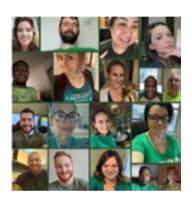
新型コロナウイルス予防のための新しい生活様式

世界的なパンデミックは、2020年の日常生活と経済発展に大きな影響を与えました。トレンドマイクロでは、自治体の方針をきちんと遵守するだけでなく、社員の健康のため、社員全員が自宅で安全かつ快適に働くことができるようにしました。また、リモートワークに必要なハードウェアを社員に用意しただけでなく、オフィス外で働くことによるストレスをモニタリングしました。

オンラインワークショップで社員の継続的な成長を図る

2020年、トレンドマイクロでは2つのオンラインワークショップ(マスタークラスおよびSuper Wednesdayブロードキャスト)を複数回開催しました。

CEOに招待されたトレンドマイクロのエキスパートが主催したマスタークラスでは、組織の枠を壊してイノベーションを起こすためのさまざまな視点が提供されました。6月からワークショップを7回開催し、各回800人~1200人が参加しました。



Super Wednesdayブロードキャストでは全地域を接続して、

販売情報を発表し、ディスカッションを奨励して、新型コロナウイルスとの戦いに関する現地のニュースを共有しました。6月からの14回の放送で毎回1,000人以上の社員が参加しています。

パンデミック下における職場安全対策手順

トレンドマイクロでは、安全な作業環境を提供するだけでなく、関連するパンデミック情報を迅速に提供するための総合的なコミュニケーションチャネルを構築し、社員がリスクを十分に理解してパニックに陥る可能性を低減できるようにしました。

パンデミック下における5つの主な安全対策

1. 感染予防



- ・在宅勤務を推奨し、出社率10%程度を実現しています。
- ・フレックスタイムのコアタイムを撤廃し、通勤が必要な場合においても混雑を避けるなどのリス ク低減を図っています。
- ・手洗い、体温測定・マスク着用の徹底などの自己診断の習慣化を促進・奨励しています。
- ・ビル内の他テナントでの感染者発生を全社員にタイムリーに周知しています。



2. ソーシャルディスタンス

- ・マスクを着用し、エレベーター内での会話は控え、乗車人数の制限をしています。
- ・全席フリーアドレス化、席の事前予約制により、ディスタンスを確保したデスク利用を可能に しています。
- ・社員向けサービスの日数を絞り、管理部門の出社日数を減らしています。



3. 環境の消毒・除菌

- ・オフィス内のすべての入り口に手指消毒剤、各フロアに除菌グッズを設置しています。
- ・オフィス内の全扉のドアノブに定期的に抗菌剤加工を実施しています。



4. 海外渡航の延期

- ・すべての海外出張を停止し、オンラインでの会議に切り替えています。
- ・すべての国際会議、及び海外のお客様向けのトレーニングをオンラインで開催しています。

5. 訪問者とベンダーの管理



- 原則、お客様とのミーティング・採用面接はオンラインとし、来訪は禁止しています。
- ・オフィスの保守、点検及び宅配便等の取引ベンダーの来訪を週3回に調整し、すべてのベンダー担当者には体温確認、アルコールでの手指消毒、マスクの着用をお願いしています。



INDEX 01 トレンドマイクロについて 02 サステナブルな開発 03 社員 04 お客様 05 コミュニティ

お客様

情報セキュリティ環境の強化

今や多くのデバイスがオンライン化され、世界の考え方や行動は劇的に変化しています。トレンドマイクロは、オンライン情報の安全性を守るために、グローバルな技術サポート・研究開発センターであるTrendMicro Researchを設立しました。Trend Micro Researchは、グローバルな情報セキュリティ動向調査の実施、テクニカルサポートの提供、定期的な調査レポートや記事の発行を行い、最新のセキュリティ情報を共有するという責任があります。

トレンドマイクロでは、情報セキュリティの課題に対して、より地域に合うターゲットを絞ったソリューションを提供するために、直線的な機能チームを意思決定の輪に変える独自の「同心円型」の意思決定構造を社内で開発しました。このシステムでは、序列が同じレベルで異なる責任を持つ管理職が同じ目標を持つチームを作ることができます。また、トレンドマイクロでは、ブログやソーシャルメディア、その他のチャネルを通じて情報セキュリティに関する問題を発信することで、社会的責任を果たしています。



GDPR情報をシームレスに共有

欧州連合(EU)でビジネスを行う企業は、世界で最も厳しいデータ保護規制であるGeneral Data Protection Regulation(GDPR)に準拠する必要があります。GDPRは、EU市民のデータを処理する世界中の組織に対して、データ処理管理を見直し、その情報を厳格に保護する計画を実施するよう義務付けています。GDPRではEU全体のデータ保護に関する法律が標準化され、これまで認識されていなかったデータの利用パターンも対象に含まれています。

トレンドマイクロは、GDPRによって個人の権利がどのように強化されるかを認識し、GDPRの要件に対応するためのプログラムを導入しました。当社は、お客様が起こり得ることに備えられるよう「意識向上と教育」プログラムを提供しました。また、「データを適切に処理」、「データ保護とデータ漏えいの管理」、「データ保護責任者(DPO)の任命」などの対策を実施して、GDPRをシームレスに遵守しています。



ランサムウェアネットワークからの保護



トレンドマイクロが公開したセキュリティレポートによると、ランサムウェアを使用する多くの犯罪者は、相関性のある恐喝手法を用いて巨額の身代金を得るために結託しています。彼らの主な標的は官公庁、病院、教育機関です。これらの攻撃を防ぐことができるのは、多層防御だけです。

02 サステナブルな開発

03 計員

04 お客様

05 コミュニティ

トレンドマイクロでは、クロスジェネレーションの脅威防御を実現するXGen™による防御を提供しており、 さまざまな脅威に最適な保護を適用します。

サービス

トレンドマイクロには、大企業から家庭、個人に至るまでさまざまなお客様がいます。グローバル脅威インテリジェンス分析と組み合わせた当社の全製品で、包括的な防御を提供しています。

製品・ソリューション















企業のお客様向けサービス

製品・ソリューション

トレンドマイクロは、Hybrid Cloud Security、Network Security、User Protection、Detection and Responseソリューションなど、さまざまな企業向けソリューションを提供しています。

詳細を確認する

サポートサービス

悪意のあるソフトウェアが進化し続けていることで、セキュリティソフトウェアの更新ラグを短縮することが大きな関心事となっています。トレンドマイクロでは、初期システムインベントリ、リスク評価、ITスタッフ向け技術トレーニングなどの課題をお客様が迅速に解決できるよう、膨大なナレッジベースと経験豊富なスタッフによるプレミアムサポートプログラムおよびスタンダードサポートプログラムをご用意しています。割り当てられた専門家による、高度なテクニカルサポートの提供もあります。

詳細を確認する

ウイルスの懸念に対する迅速な対応

トレンドマイクロは、ウイルスのアウトブレイクに対応した完全プロトコルの策定を行い、企業ネットワーク内での悪意のあるソフトウェアの拡散を封じ込めることができるよう支援します。カスタマーサービスマネージャーとトレンドラボのスタッフが連携して、効果的な手順に従い補完しながら、お客様からの疑わしいファイルサンプルを昼夜を問わず即座に分析します。また、トレンドマイクロでは、ローカル管理者の負担を軽減するための検知・対応の仕組みも導入しています。

Trend Micro Research	カスタマーサービスマネージャー	脆弱性への対応
トレンドマイクロは、お客様が報告してから1時間以内に疑わしいウイルスサンプルを分析し、2時間以内に信頼性の高い緊急ソリューションをご用意します。1,200人を超える脅威分析の専門家が、ネットワークセキュリティの問題に対応します。	お客様は、質問がある場合にはいつでも自分のカスタマーサービスマネージャー(CSM)に直接問い合わせることができます。CSMは問題についてTrend Micro Researchへ直接報告し、情報セキュリティ上の懸念によってお客様が受ける可能性のある影響を軽減できるよう、Trend Micro Researchと連携してソリューションを提供します。またCSMは、お客様のネットワーク環境とハードウェアを診断し、保護とクリーンアップ戦略を考案します。	トレンドマイクロは、お客様が潜在的な脆弱性を早期に解決し、関連するリスクを軽減できるように、脆弱性に対するソリューションを迅速に提供することを約束します。

企業が直面するセキュリティ人材不足の問題を支援する

トレンドマイクロでは、大規模組織が大量の脅威情報をより効率的に分析するのを支援するために、MDR(Managed Detection and Response)サービスを提供しています。トレンドマイクロのセキュリティ脅威分析の専門家が脅威情報を監視および分析し、解決策を提供します。AI技術と強力なグローバルスレットインテリジェンスネットワークに支えられたMDRは、セキュリティインシデント後の分析に要する時間を短縮することで、セキュリティリスクを低減し、自動対応を加速させます。対応時間の短縮は、必然的により効率的な修復作業につながります。このアプローチにより、トレンドマイクロは、多くの組織が直面している広範なセキュリティ人材不足への対応を支援することができます。

02 サステナブルな開発

03 計員

04 お客様

05 コミュニティ

Managed Detection and Response (MDR

このサービスでは、統合エンドポイントソリューションを通じてシステムレベルのアクティビティを記録できる 高度な脅威追跡機能を提供します。

トレンドマイクロでは、これらの情報をもとに、次のサービスを提供しています。

- ・オンラインサポート
- ・継続的な監視とアラート調査
- ・警告の優先的な分析と調査

緊急オンサイトサービス

状況によっては、セキュリティの専門家が直接お客様を支援する必要があります。そこでトレンドマイクロはお客様のもとへ訪問し迅速な修理サービスを提供します。専門家が、速やかにお客様の職場へ向かい、 緊急事態に対処します。

プロアクティブなサービス

リアクティブな保護システムでは昨今のオンライン攻撃を防ぐことができないため、攻撃が発生し際に、トレンドマイクロはお客様に「重大なセキュリティ脅威」と「広範囲にわたるウイルス警告」のアラートを表示します。

トレンドマイクロは、複数のチャネル(電子メール、テキストメッセージ、電話など)を通じて、攻撃を受けているお客様と連絡を取り、これらの警告をトレンドマイクロ側で受け取っていることを確認します。企業はトレンドマイクロからの通知に従ってすぐに対応することができます。トレンドマイクロの優れたデータ収集と分析能力により、企業は情報セキュリティの被害を効果的に防ぎ、壊滅的な損失を回避することができます。

専門トレーニング

トレンドマイクロは、包括的なプロフェッショナルトレーニングを提供しています。悪意あるソフトウェアを防御する方法について、お客様(パートナー、企業、コミュニティを含む)がより深く理解できるよう支援し、製品のインストールと導入をサポートしています。

カスタマイズされたトレーニング

- ・パートナー:トレンドマイクロは、急速に進化する新たな脅威からパートナーが顧客を守るのをサポートするために、製品認証の取得支援やビジネス開発ソリューションの提供を行っています。
- ・ <mark>企業</mark>:トレンドマイクロでは、企業のお客様が新たな脅威に適切に対処できるように、無料の教育、トレーニング、および認定を行っています。
- ・コミュニティ:トレンドマイクロは、「トレンドマイクロ教育イニシアティブ」を通じて、より安全で豊かなデジタル社会の実現に向けて、コミュニティの教育とデジタルリテラシーの啓発に取り組んでいます(詳細は「コミュニティ」をご覧ください)。

個人のお客様向けサービス

デジタルライフサポートプレミアム

ソフトウェアの設定、コンピューターのアップグレード、製品のトラブルシューティング、モバイルデバイスのバックアップでお困りのお客様は、トレンドマイクロの専任スタッフに連絡してアドバイスやサポートを受けることができます。

コミュニケーションチャネル

トレンドマイクロでは、当ブランドの評判はお客様とステークホルダーからの信頼に左右されると固く信じています。そして、多様な意見を聞きフィードバックを集めるからこそ、改善されると考えています。トレンドマイクロは、お客様にブランドについてもっとよく知っていただくために、ソーシャルメディアを幅広く活用しています。また、電話、メールメッセージ、会議、展示会を通じてお客様と対話し、フィードバックを集めています。



02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

トレンドマイクロ公式サイト

トレンドマイクロの公式サイトでは、お客様がより迅速に問題を解決できるように、製品とソリューションに関する 包括的な情報を提供しています。また、サイバーセキュリティに関する脅威情報も紹介し、当社公式サイトの訪 問者が脅威から自身の身を守り、情報セキュリティインシデントを減らすための支援も行っています。

ブログ



トレンドマイクロは、さまざまな脅威情報サイトを運営しています。 「トレンドマイクロ セキュリティブログ」は、セキュリティ技術者や研究 者向けにマルウェア/脆弱性/攻撃者グループなどの最新動向や攻撃 手口の技術的な解説を行っています。「is702」は、インターネットを 安心、安全に活用するために必要なセキュリティ情報を一般利用者 向けに提供しています。「iot security」では、スマートファクトリー/コネ クテッドカー/5G・ローカル5GなどのIoT関連セキュリティ情報を提供 しています。









プライバシー保護

トレンドマイクロは、個人顧客データの紛失、盗難、誤用、開示、変更、または破壊を防止するため の対策を実施しています。当社は、個人情報を保護するための明確な顧客プライバシーポリシー を策定しています。

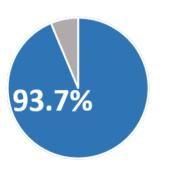
顧客滿足度調查

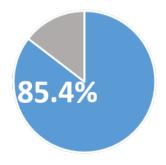
トレンドマイクロでは、サービス品質を測定し、90%以上のお客様にトレンドマイクロのサービスに 満足していただくことを目標として、毎月、顧客満足度調査を実施しています。これらの優れた結 果を頂いても、トレンドマイクロのカスタマーサービスマネージャーがご不満をお持ちのお客様に 連絡し、問題の原因を特定し、改善するための探求を止めることはありません。当社は、お客様 からのフィードバックやご提案について、学びを得るための貴重な機会であると考えています。本 調査結果をモチベーションとし、サービス品質を改善し、優れたものにするよう継続的に努力しま す。

トレンドマイクロのサポート満足度※1~4

プレミアムサポート

スタンダードサポート





コミュニティ(グローバルシティズンシップ)



トレンドマイクロは、グローバルコミュニティに 還元し、困っている隣人を助けることで、責 任ある企業市民として行動するよう常に努力しています。

トレンドマイクロは、社会貢献の精神である「グローバルシチズンシッププログラム」のビジョンを掲げ、トレンドマイクロの中核となっている能力を活用して、社会をケアするための活動を実践し、世界に良い変化をもたらしています。



詳細を確認する

社会活動

Give and Match

結果

2008年以降:

- ・20,000人以上の社員が参加
- ・総額5,850,918ドル以上を集 める
- ・43の自然災害に対応し多数 のグローバル非営利団体に 資金を提供

トレンドマイクロは毎年社員から寄付先の非営利団体を募っています。寄付 先はデジタルギャップ・教育・環境など恵まれない人々をサポートするコミュ ニティを支援している非営利団体です。世界中の社員が協力することで、大 規模な自然災害や危機(地震、暴風雨、火災など)が発生した際に、臨機応 変なGive and Matchプロジェクトを立ち上げ、対応することができます。

4分の1を超えるトレンドマイクロ社員がGive and Match Programに参加しています。

2019年~2020年自然災害募金

		寄付額(米ドル)		
支援対象	寄付人数	社員による金額	トレンドマイクロ マッチング	合計
Waxathon - MS Ireland	235	2,759	2,759	5,518
Erez Foundation	15	6,585	6,585	13,170
日本赤十字社及びジャパン・プラットフォーム	87	4,062	4,062	8,124
ミンダナオ島の地震	41	1,635	1,635	3,270
SKOサービスプロジェクト	741	44,762	46,085	89,104
オーストラリア森林火災	176	12,476	12,476	24,952
タール火山の噴火	74	3,560	3,560	7,120
新型コロナウイルス(2019-ncov)	226	16,772	16,772	33,544
新型コロナウイルス : Bayanihan Para sa Bayan	348	17,183	171,825	189,008
新型コロナウイルス:	- 66	14,529	119,289	133,818
Egypt Misr el Kheir		,020	110,200	100,010
新型コロナウイルス : India PM Cares Fund	85	14,335	135,288	149,623
新型コロナウイルス: SG Food Bank	20	2,824	2,824	5,648
新型コロナウイルス: NABU Food Bank	199	36,706	36,706	73,412
合計	2,313	178,187	559,866	736,311

INDEX 01 トレンドマイクロについて 02 サステナブルな開発 03 社員 04 お客様 05 コミュニテ

2019年~2020年地域別寄付

		寄付額(米ドル)		
支援対象	寄付人数	社員による金額	トレンドマイクロ マッチング	合計
AVC	11	1,117	1,117	2,234
Candlelighters	73	24,619	24,619	49,238
Center for Child Protection	42	6,300	6,300	12,600
Colby & Cate's Charities	15	1,225	1,225	2,450
National Olympiad in	1	25		25
Informatics Philippines		25	-	25
NPO法人3Keys	40	2,095	2,095	4,190
小児がん慈善団体	16	1,317	1,317	2,634
Right Start	14	1,432	1,432	2,864
Special Olympics	57	2,795	2,795	5,590
反奴隷制	1	26	-	26

年間寄付統計

_		也域数 支援対象数	寄付人数	寄付額(米ドル)		
年	地域数			社員による金額	トレンドマイクロ マッチング	合計
2008	5	2	1,206	142,224	142,224	656,788
2009	6	4	1,437	196,251	196,113	649,569
2010	3	5	505	48,413	48,413	96,826
2011	12	4	1,955	322,709	321,471	1,184,251
2012	20	3	870	61,925	59,388	121,313
2013	11	3	1,481	150,223	148,502	519,639
2014	7	2	846	91,240	90,120	181,360

	地域数 支援対象数		寄付額(米ドル)			
年		支援対象数 	寄付人数	社員による金額	トレンドマイクロ マッチング	슴計
2015	12	2	1,592	140,454	140,443	280,897
2016	21	4	2,162	214,902	190,108	405,010
2017	15	5	1,171	89,560	89,281	178,842
2018	18	4	1,359	98,846	96,402	195,248
2019	16	1	1,859	146,519	146,468	292,987
2020	31	4	3,330	346,472	741,716	1,088,188
合計	186	43	20,008	2,049,738	2,410,649	5,850,918

※赤字合計額は創業者による特別寄付を含む

Home Building Program - 国境なき愛

結果

- ・700人を超える参加者
- ・ 北米、欧州、日本などのグローバルの社員が参加
- 19の異なるコミュニティで305 棟以上の家屋建設を支援
- ・1,900世帯、3,200人を超え る子どもたちを支援

2008年以降、トレンドマイクロはフィリピンのNPOであるGKと提携し、恵まれない環境にある家族のために家屋の建設資金と人材の提供を行っています。当社は毎年、世界中の社員に、チームを編成してフィリピンに支援に行くことを奨励しています。そして、交通費や滞在費、建設費を含む5日間の旅行にかかる費用をボランティアに補助しています。Home Building programは、新しい家屋建設を支援するだけでなく、社員が建設した新しい家屋に住む現地の人との個人的な関係を深め、地域文化を直接体験できる機会となっています。

詳細を確認する

34

INDEX 01 トレンドマイクロについて 02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

トレンドマイクロからの地域別参加

年	欧州 中東、アフリカ	北 木	アジア・パシッフィック オーストラリア ニュージーランド	日本	フィリピン	参加者総数
2008	21	6	14	11	25	77
2009	5	3	5	7	12	32
2010	19	5	4	12	30	70
2011	12	5	13	9	28	67
2012	7	6	24	12	24	73
2013	14	2	15	16	23	70
2014	12	4	18	14	22	70
2015	8	7	14	9	23	61
2016	11	4	19	12	23	69
2017	12	7	20	10	21	70
2018	12	3	7	6	36	64
2019	14	7	22	6	24	73

支援を受けた世帯および子どもの総数

GK Village	世帯数	子ども数
MJR	21	63
Bermuda, Kalayaan	22	61
Gloria, Bermuda	12	30
Kalayaan	18	64
Jose Rizal	445	650
Bagong Silang	450	800
USA Hope	55	220

GK Village	世帯数	子ども数
Canossa	45	40
Silver Heights	75	200
Toyota	160	150
Bayanihan	126	100
GK Escopa	67	100
StJoseph	52	110
Munting Pamayanan	72	80
Dasmarinas	85	100
Sapang Maragul	67	106
Munting Paraiso	51	150
GK Victoria	36	70
Abucay	43	150
合計	1,902	3,244

建設家屋数

年	期間	建設地域	建設場所	建設家屋数
	4/21-25	MJR		5
2008	9/15-19	Bermuda, Kalayaan	Ratangas	17
2006	11/10-14	Gloria, Bermuda	Batangas	1
	11/24-28	Gloria, Bermuda		4
	3/2-6			
2009	5/25-29	Jose Rizal	Laguna	33
	4/12-16	Jose Rizal	Laguna	10
2010	5/24-28	JUSE RIZAI	Laguna	10
woodoodoo	11/15-19	Bagong Silang	Caloocan	30

02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

年	期間	建設地域	建設場所	建設家屋数
	5/16-20	USA Hope	Caloocan	5
2011	10/10-14	Canossa	Laguna	3
	11/14-18	Jose Rizal	Laguna	10
2012	4/16-20	Jose Rizal	Laguna	5
	10/15-19	Silver Heights	Caloocan	8
	11/12-16			
2013	4/15-19	Toyota-Sta.Rosa	Laguna	25
	10/21-25			0000
	11/18-22			
2014	5/19-23	Jose Rizal	Laguna	10
	10/27-31	Bayanihan	Cavite	10
	11/17-21	000000	0.000.000.000.000	00000
2015	5/11-15	Escopa	Quezon City	5
	10/26-30	Toyota-Sta.Rosa	Laguna	1
	11/30 -12/4	St Joseph	Nueva Ecija	10
2016	5/16-20	St Joseph	Nueva Ecija	3
	10/3-7	Munting Pamayanan	Quezon City	18
	11/14-18	Munting Pamayanan	Quezon City	
2017	5/22-26	Dasmarinas	Cavite	6
	10/16-20	Dasmarinas	Cavite	12
	11/13-17	Sapang Maragul	Tarlac	10
2018	April	St Joseph		5
	October	Munting Paraiso		- 10
	November	Munting Paraiso		10
2019	April	GK Victoria	000000000000000000000000000000000000000	10
	October	GK Abucay		10
	November	GK Abucay		10











02 サステナブルな開発

03 計員

04 お客様

05 コミュニティ

未来を創る「Annual Service Project」

結果

· 2016年以降、15以上の地域の学校で多く の社員がこのプログラムを体験 トレンドマイクロは、学習環境の改善を通して、子どもたちの成長と自分の可能性の発見を支援しています。2013年以降、当社は未来を創る「Annual Service Project」に出資してきました。1年に1日、社員が集まり支援の必要な地元の学校でボランティア活動を行います。

2020年にはグローバルの社員が横浜に集い、神奈川県の2つの児童養護施設への支援活動を行いました。同時に、全国100の児童養護施設へ送る絵本の仕分けを行い、手作りの栞やお手紙と共に送付作業をボランティア活動として行い、共に汗を流しました。

詳細を確認する

教育

トレンドマイクロは、インターネットの安全性、デジタルリテラシー、オンラインセキュリティのリスクに対する意識を高めるために、学生や大学の教員、および企業の情報セキュリティに関する学習を支援する「Trend Micro Initiative for Education」を開始しました。トレンドマイクロは、インターネット上の脅威を知り、自分の身を守る「セキュリティ教育」を通じてデジタルインフォメーションを安全に交換できる世界の実現を目指しています。トレンドマイクロでは次のような取り組みを行っています。

•教育

トレンドマイクロの専門家、技術、リソースを可能な限り活用する

·協力

効率性、範囲、影響力を最大化するためにボランティア活動やパートナーシップの構築を奨励し、 意識を高める

•普及

無料で、見つけるのが簡単で参加しやすい関連イベントやリソースを提供する

Internet Safety for Kids and Families (ISKF)

子どもの安全なインターネット利用を支援するセキュリティ教育プログラム「Internet Safety for Kids and Families」では、子どもとその保護者の方々にインターネット利用に潜む最新の脅威やモラルについて、学び・考える機会を提供しています。これまで世界中の200万人を超える子どもとその保護者に対して、900人を超えるトレンドマイクロの社員がボランティアでセキュリティ教育を行ってきました。

結果

2008年以降:

- ・613.644人の学生を支援
- ・2,107,107人の保護者に報告
- ・24.967のイベントを実施
- ・1,309人のボランティアが参加
- ・24.214校が参加

詳細を確認する

「What's Your Story?」コンテスト

「What's Your Story?」は、子ども達やその保護者の方々に対するインターネットセキュリティ啓発活動を目的としたコンテストです。動画制作を通じて情報セキュリティの大切さを学んでいただくと同時に、より多くの人にインターネット利用で役立つ知識を共有することを目的としていますすでに日本を含む15か国以上で2万人以上の子ども、先生、保護者が本コンテストに参加しました。2020年、日本で実施した第5回目のテーマは「インターネットを安全に楽しく利用するために気をつけていること」でした。

結果

- ・世界中で2万人以上の参加者
- ・3.896件のエントリー







子供にスマホを持たせるときに読む「保護者向けハンドブック」を無償提供 ~第1弾として、東京都と連携し都内の小学校6年生へ配布~

近年、スマホの長時間利用による生活習慣の乱れや、SNS等の不適切な利用により子供が犯罪に巻き込まれる事案が社会的問題となっています。本ハンドブックは、子供に初めて自分のスマホを持たせるときに保護者が知っておくべき「スマホを持つと遭遇する危険」「行うべき対策」「万がートラブルに遭遇した際の対処法」など子供が正しく安全にスマホを利用する方法を紹介しています。本ハンドブックはトレンドマイクロのWebサイトより無償でダウンロードできます。また、第1弾として、東京都都民安全推進本部と連携し、都内の小学校6年生約10万人へ配布しました。



大学向けサイバーセキュリティ教育(CEU)

脅威が増大しているため、技術を持つサイバーセキュリティ専門家が不足しています。トレンドマイクロは、大学向けのサイバーセキュリティ教育 (CEU)プログラムを立ち上げました。高等教育機関と専門知識を自由に共有し、学生への教育を支援するためです。

トレンドマイクロは、米国国立標準技術研究所(NIST)と共催でNational Initiative for Cybersecurity Education 2019というイベントを開催しました。当社は、地方自治体や学術機関、産業界と積極的に連携し、サイバーセキュリティ人材の課題解決に取り組みました。

結果

2008年以降:

- ・世界中の50以上の大学を支援
- ・北米、中南米とアジア・パシフィック地域の20以上の大学が、現在 も積極的なパートナーとして活動
- ・これまでに1,000 人以上の大学 の 教育者や管理者が参加

INDEX 01 トレンドマイクロについて 02 サステナブルな開発 03 社員 04 お客様 05 コミュニティ

また、情報セキュリティの知識を持つ学生にネットワークセキュリティコミュニティの向上に一緒に取り組んでもらうため、サンノゼ州立大学と連携しています。

また、フィリピン最大のPolytechnic University of the Philippines (PUP)と共同でサイバーセキュリティコースを開設し、「Cyber Security Education Enablement (CSEE)プログラム」を開始しました。オンラインのワークショップやセミナーを、新型コロナウイルスのパンデミックで中止することはありませんでした。トレンドマイクロはまた、フィリピンの情報通信技術省(DICT)とも協力して、同国のインターネットインフラを強化するため、サイバーセキュリティオンラインワークショップを開催しました。

詳細を確認する





プログラム内容:

上級レベル

参加大学



L4:研究プロジェクト



L3: カリキュラム支援・カ ウ ン セリング



L2:教員支援ワークショップ/ウェビナー、ハードウェアの寄付





L1:サイバーセキュリティキャリアのカウンセリングおよび ウェビナー、技術共有/専門家の共有

参加校:









るように支援する一連の活動を主催しました。













Internet Safety for Small Businesses (ISSB)

トレンドマイクロは、デジタル世界における中小企業経営者とその従業員の安全性を向上させるため、2017年11月にInternet Safety for Small Businesses (ISSB)プログラムを立ち上げました。また、National Cyber Security Allianceおよび非営利団体SCOREと提携し、情報セキュリティの知識を共有、リスク意識を高め、中小企業がオンライン脅威に対してよりプロアクティブなアプローチを取ることができ

39

新型コロナウイルスのパンデミックに対応するため、コースのトピックを調整し、2020年のNCSA中小企業ウェビナーシリーズを完全なオンライン形式で共催しました。内容は次のとおりです。



ウェビナートピック	日付:	スピーカー
サイバーセキュリティのベストプラクティス	2020.4.7	トレンドマイクロのゲストスピーカー: Greg Young、Ed Cabrera
コロナ禍におけるEコマースセキュリティ	2020.4.21	トレンドマイクロのゲストスピーカー: ・ William Malik、Mitchel Chang
新型コロナウイルス詐欺に遭わないために	2020.5.5	トレンドマイクロのゲストスピーカー: ・ William Malik、Jon Clay
フィッシング、ビッシング、スミッシング。これらの 脅威からわたしの大切な会社を守るには?	2020.5.12	トレンドマイクロのゲストスピーカー: ・ Mitchel Chang
新型コロナウイルス詐欺に遭わないために	2020.5.26	トレンドマイクロのゲストスピーカー: · Jon Clay · Joahnna Hipolito
テレワークサイバーセキュリティのベストプラクティス	2020.6.9	トレンドマイクロのゲストスピーカー: ・ Greg Young ・ Ed Cabrera

詳細を確認する









地域に根差した活動

詳細を確認する

STEM(科学·技術·工学·数学)教育 - 台湾

トレンドマイクロのボランティアは、台湾の恵まれない子どもたちにコンピュータープログラミング、3Dプリンター、自動運転車、ロボット工学について教えています。良い教育を行うには、地域の先生方による継続的な支援が必要であるため、当社は先生にSTEMカリキュラムの開発と改善のためのトレーニングも行っています。

Click Right! および「What's Your Story」 アートキャラバン – フィリピン

フィリピンでの新たな取り組みとして始まったClick Right!は、今日の若者に対するインターネットの安全性とサイバーセキュリティ上の懸念について、親、子ども、教育者、保護者を啓発するものです。これらのプロジェクトには、ソーシャルメディアの使用上の注意喚起や、フィリピン全国の学校や子どもたちが頻繁に訪れる場所で開催される巡回教室、「What's Your Story?」アートキャラバンなどがあります。毎年恒例のアート大会では、子どもたちが責任あるインターネット利用について声をあげ、他の子どもたちに良い影響を与えることを奨励しています。

結果

2013年以降:

- 6,000人を超える子どもたちの 参加
- ・1.400件以上の援助



スマイルプロジェクト SMILE PROJECT - 日本

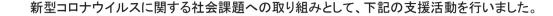
トレンドマイクロは、無償の愛の力で人と人を結びつけることで、世界をより良いものにしたいと思っています。2011年に発生した東日本大震災以降、被災者の皆さんに心の支えとなるものを送りたいという思いから、日本の社員は、スマイルプロジェクトを通じて、瓦礫撤去、植樹、漁業、植樹に関わるボランティアなど継続して行ってきました。

結果

- · 2011年以降、スマイルプロジェクトは 51回の主要プロジェクトを完了
- ・640人の参加者が被災地の漁業や 農業などの産業の復興を支援

また近年では、プログラムを拡大し、2016年の熊本地震、2017年の九州北部豪雨、2018年の西日本豪雨など、 自然災害が発生した日本の他の多くの地域でも活動を行っています。

有志の社員が日本全国の被災地や児童養護施設を訪れる活動も実施しており、2021年4月現在、全51回、延べ640人以上の社員が支援活動に参加しています。現地訪問を通じて、地元の方々との「また来てね」、「また来るよ」といった関係性を大事に、被災地の方々に寄り添う活動であるべきという考えのもと、継続して推進している取り組みです。



- 日本の医療従事者や流通業の方々に対して、海外子会社から届いたマスクの寄付
- ・ 営業自粛要請により売り上げが減少した飲食店と連携し、食糧支援が必要な子供達へお弁当を提供 (特定非営利活動法人Learning for All と連携し、5月末から週2回、約1カ月間に渡り希望する家庭に 対して、計634個のお弁当を配達)
- 社員ボランティアが3Dプリンターで制作したフェイスシールドを医療従事者へ寄付
- 外出自粛に努める児童養護施設の子どもたちへスイーツを提供

これらの施策はすべて社員のアイディアから発足し、プロジェクト化した取り組みです。 トレンドマイクロは、今後も新型コロナウイルスに含めた社会貢献活動に取り組んで参ります。

詳細を確認する











02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

サイバー犯罪の撲滅に向けて



サイバー犯罪の撲滅のため、世界各国で絶えず発生し続けるサイバー犯罪から社会を守るために、トレンドマイクロは国内外の組織や警察機関と密に連携しています。トレンドマイクロが独自の調査・解析・研究で得た脅威の情報を、広く一般に公開し、社会の安全に貢献すると共に、情報セキュリティの専門家として、FBIやインタポールなどの法執行機関や国際組織と連携し、サイバー犯罪の捜査に協力しています。

新型コロナウイルスのパンデミックは、個人の日常生活から世界経済全体に至るまで、あらゆるものに影響を及ぼしています。当然、ネットワークセキュリティにも大きな影響がありました。これを受けて、トレンドマイクロでは新型コロナウイルスに関連する情報セキュリティ上の問題について、世界規模で詳細な調査を実施しました。その結果、スパムメールメッセージ(65.7%)、悪意のあるソフトウェア(26.8%)、悪意のあるリンク(7.5%)という3つの主要なセキュリティリスクが特定されました。これは、サイバー犯罪者がパンデミックを利用してサイバー攻撃を行い、個人情報を盗み出していることを示しています。

トレンドマイクロは、情報セキュリティ意識の向上を目的としてこれまで長い間インターポールと連携してきました。また、在宅勤務者を保護するために企業や在宅勤務者の支援も行っています。このような対策を推進することで、企業や個人のセキュリティリスクが低減されるだけでなく、グローバルな情報環境がより安全で信頼性の高いものになっていきます。

詳細を確認する

年	協力機関	結果
	インターポール	巨大ボットネット「SIMDA」閉鎖に協力
	FBI	Esthost(Rove digital)ハッカーグループの摘発に協力
2015	FBI	「DRIDEX」に利用されたC&Cネットワークを閉鎖に協力
	NCA	悪質なRefud.meとCryptex Rebornのサービスをシャットダウンに協力
	インターポール	ナイジェリアのサイバー犯罪グループのリーダー逮捕に協力
2016	台湾内政部警政署刑事 警察局	IMSVA MailGuard機能(SNAP)の検出機能を活用し、流行していた電子メール詐欺事件の解決に協力
2017	・ユーロポール・FBI・ドイツ警察	大規模なオンライン犯罪インフラ「Avalanche(アヴァランチ)」の摘発に協力
2011	ユーロポール	ATMマルウェアの動向を分析したレポートを共同で公開
2018	FBI	不正なウイルス検索サービス「Scan4You」提供者の有罪判決に貢献
2019-	インターポール	企業や在宅勤務者の情報セキュリティ意識の向上を目的とした、 SNS上での新型コロナウイルス便乗脅威啓発キャンペーンにパートナーとして協力
2020		インターポールとの連携により不正コインマイナー感染ルートを78%減らすことに成功

02 サステナブルな開発

03 社員

04 お客様

05 コミュニティ

Appendix:GRI Standards Reference Table

Appendix 1

GRI General Disclosure 2016					
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記	
	102-1	織の名称	01 トレンドマイクロについて - トレ ンドマイクロについて		
	102-2	活動、ブランド、製品、 サー ビス	01トレンドマイクロについて-マネ ジメント		
	102-3	本社の所在地	01 トレンドマイクロについて -トレンドマイクロについて		
	102-4	事業所の所在地	01 トレンドマイクロについて -トレンドマイクロについて		
	102-5	知的財産および法律	01 トレンドマイクロについて -マネジメント		
組織の プロフィール	102-6	市場サービス	01 トレンドマイクロについて -マネジメント		
	102-7	組織	01 トレンドマイクロについて -マネジメント		
	102-8	社員およびその他の 労働者に関する情報	03 社員 - 透明性のある採用手続き		
102-1	102-10	組織関する重大な変化		情報セキュリティ技術に重 点を置いているため、当社 にはサプライチェーンはあ りません。	
	102-12	外部イニシアティブ	05 グローバルシチズンシッププログラム - サイバー犯罪の撲滅に向けて		

GRI General Disclosure 2016					
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記	
戦略	102-14	決定 メーカーの声明	レポートについて		
倫理と誠実性	102-16	価値観、理念、 行動基準、規範	 トレンドマイクロについて -管理 サステナブルな開発 -倫理規定とビジネス慣行 ガイドライン 		
マネジメント	102-18	管理構造	01 トレンドマイクロについて -マ ネジメント		
ステークホルダー コミュニケー ション	102-40	ステークホルダーグループ	02 サステナブルな開発 -ステークホルダーと重要課題への対 応		
	102-41	団体協定		当社には労働組合 はありません。	
	102-42	ステークホルダーの特定および選定	02 サステナブルな開発 - ステークホルダーと重要課題への 対応		
	102-43	ステークホルダーとの コミュニケーションの手法	02 サステナブルな開発 -ステークホルダーと重要課題への対 応		
	102-44	提起される重要な項目 および概念	02 サステナブルな開発 -ステークホルダーと重要課題への対 応		
運営レポート	102-45	連結財務諸表	01トレンドマイクロについて -事業運営		

	GRI General Disclosure 2016					
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記		
	102-46	報告書の内容およ び項目の該当範囲 の確定	レポートについて			
	102-47	マテリアルな項目のリスト	レポートについて			
	102-48	情報の再記述	レポートについて			
	102-49	報告における変更	レポートについて			
	102-50	報告期間	レポートについて			
	102-51	前回発行の報告書の日付	レポートについて			
運営レポート	102-52	報告サイクル	レポートについて			
	102-53	報告書に関する質問の 窓口	レポートについて			
	102-54	GRIスタンダードに準拠した 報告	レポートについて			
	102-55	GRI内容索引	付録1			
	102-56	外部保証	レポートについて			
	102-53	報告書に関する質問の 窓口	レポートについて			
	102-54	GRIスタンダードに準拠した 報告	レポートについて			
	102-55	GRI内容索引	付録1			
	102-56	外部保証	レポートについて			

	運営業績					
GRI 102:Managing	Principle	es 2016				
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記		
	103-1	重要な項目とその該当範囲の説明	02 サステナブルな開発 -重要課題の意義			
経営理念	103-2	マネジメント手法とその焦点	01 トレンドマイクロについて -事業運営			
	103-3	マネジメント手法の評価	01 トレンドマイクロについて -事業運営			
	GR	200 : Special Topic Disclosures	- Economics 2016			
	201-1	創出、分配した直接的経済価値	01 トレンドマイクロについて -事業運営			
経済パフォーマ ンス		気候変動による財務上の影響、 その他リスクと機会		トレンドマイクロは気候変動問題にほとんど影響を与えない情報セキュリティ技術を主な事業としているため、レポートには気候変動のリスク評価や特定は含まれていません。		
	201-3	確定給付型年金制度の負担、 その他の退職金制度				

INDEX 01 トレンドマイクロについて 02 サステナブルな開発 03 社員 04 お客様 05 コミュニティ

	社員の仕事と生活のバランス					
GRI 103 : Ma	naging Princip	ples 2016				
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記		
47 W 77 A	103-1	重要な項目とその該当範 囲の説明	02 サステナブルな開発 -重要課題の意義			
経営理念	103-2	マネジメント手法とその焦点	03 社員 - 健全な労働環境			
	103-3	マネジメント手法の評価	03 社員- 健全な労働環境			
		インターネット	情報の安全性			
GRI 103 : Ma	naging Princip	ples 2016				
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記		
	103-1	重要な項目とその該当範 囲の説明	02 サステナブルな開発 –重要課題の意義			
経営理念	103-2	マネジメント手法とその焦点	04 お客様 - 情報セキュリティ環境の強化			
	103-3	マネジメント手法の評価	04 お客様 - 情報セキュリティ環境の強化			

GRI 200 : Sp	ecial Top	ic Disclosure - Economics 2016			
間接的	203-1	インフラ投資とサポートサ ービスの開発と影響	04 お客様 - 情報セキュリティ環境の強化		
経済影響	203-2	顕著な間接的経済影 響	04 お客様 - 情報セキュリティ環境の強化		
業界における才能の育成					
GRI 103 : Ma	anaging Pi	rinciples 2016			
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記	
	103-1	重要な項目とその該当範囲の説明	02 サステナブルな開発 -重要課題の意義		
経営理念	103-2	マネジメント手法とその焦点	05 グローバルシチズンシップ プログラム - 大学向けサイバーセ キュリティ 教育(CEU)		
	103-3	マネジメント手法の評価	03 社員 - 健全な労働環境		

		製品技術	研究開発	
GRI 103 : Ma	naging Princ	iples 2016		
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
経営理念	103-1	重要な項目とその該当範 囲の説明	02 サステナブルな開発 -重要課題の意義	
	103-2	マネジメント手法とその	01トレンドマイクロについて – ソリューション IoTセキュリティ	
	103-3	マネジメント手法の評価	01トレンドマイクロについて − ソリューション IoTセキュリティ	
ODI 400 - M-	na aire a Daire	知的財	産保護	
GRI 103:Ma			6411-4	:4-≘⊓
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
経営理念	103-1	重要な項目とその該当範 囲の説明	02 サステナブルな開発–重要課題の意義	
	103-2	マネジメント手法とその焦点	04 お客様 - 情報セキュリティ環境の強化	
	103-3	マネジメント手法の評価	04 お客様 - 情報セキュリティ環境の強化	

製品サービスと顧客関係				
GRI 103 : Managing Principles 2016				
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
経営理念	103-1	重要な項目とその該当範囲の説明	02 サステナブルな開発 –重要課題の意義	
	103-2	マネジメント手法とその焦点	04 お客様	
	103-3	マネジメント手法の評価	04 お客様	
多様なキャリア成長とトレーニング				
GRI 103 : Managing Principles 2016				
開示項目	番号	説明	参考とする章	注記
経営理念	103-1	重要な項目とその該当範 囲の説明	02 サステナブルな開発 -重要課題の意義	
	103-2	マネジメント手法とその焦点	03 社員 - 学習と成長	
	103-3	マネジメント手法の評価	03 社員 - 学習と成長	
GRI 400 : Specific Topic Disclosures - Society 2016				
研修と教育	404-2	社員スキル向上プログラム および移行支援プログラム	03 社員 - 学習と成長	